



門川町立草川小学校 校長室便り



草小HPへ
「QRコード」は、ソラ
株式会社デンの登
録商標です。



令和5年度 第5号 (令和5年9月15日発行)

R5教育目標 : 夢に向かって 自ら学び 心豊かな たくましい 草小っ子

為せば成る 為さねば成らぬ 何事も！ ～ 2学期の目標達成に向けて即実践 ～

行事の多い2学期がスタートして、早3週間が過ぎました。11日には運動会の結団式が行われ、今週から本番(10月22日)に向けた練習が本格的にスタートしました。

さて、2学期のスタートに当たり、始業式では子供たちに、目標に向かって充実した毎日を過ごしてもらうために、二つの言葉を紹介しました。



1 “為せば成る為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり”(上杉鷹山)

⇒ 目標を立てるだけでは駄目。目標に向かって努力できるかどうか的大事!

2 “継続は力なり” ⇒ まとめて頑張ろうとするより、休まずコツコツと努力し続けることが大事!

本当は、タイムリーな言葉として、今夏の甲子園大会決勝で敗れた仙台育英高校の須江航監督が試合後に語った「人生は敗者復活戦」という言葉も候補として考えましたが、小学生には少し難しいと判断し、上の二つの言葉を紹介することにしました。ちなみに…私の長男が野球部のコーチを務める高校も埼玉県代表として甲子園に出場していましたが、初戦でこの仙台育英高に敗れてしまいました。
※須江航監督…門川中が全国2連覇した時の決勝の相手校(仙台育英学園秀光中等)の当時の監督。昨夏甲子園優勝時の「青春って、すごく密なので」でも有名。

全国学力・学習状況調査(6年生)の結果から① ～ 「国語」の結果 ～

全国の6年生を対象に4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月末に本校にも届きました。早速、夏休み中の職員研修で、本校6年生の正答率が低かった問題や無解答率が高かった問題などを、“6年生の結果” = “全学年の結果” という認識のもと、全職員で確認し合いました。

今回の国語では、これまでの取組と直前のテスト対策の成果も見られ、特に「条件に合わせて長文で答える問題」では、全国平均を上回る結果が得られました。どのような問題か紹介します↓

I 相田さんは、【資料1】【資料2】【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。
◆資料を読み、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
◆分かったことを基に、これから自分ができそうなことを書くこと。
◆80字以上、100字以内にまとめて書くこと。
【全国正答率 56.2%】⇒【本校正答率 67.6%】

II 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。
◆寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
◆【インタビューの様子】の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
◆書き出しの言葉に続けて、40字以上60字以内にまとめて書くこと。
【全国正答率 70.2%】⇒【本校正答率 75.7%】

このように小学校国語でも、ただ読み取るだけでなく、複数の資料から読み取ったことを基に自分がどう考えるかを表現する力まで求められています。

県教育長表彰! ～ 「学校安全」の部(小学校)は本校のみ ～

8月末に、県庁で「学校保健」・「学校安全」・「学校給食」の表彰式があり、本校が「学校安全」の部で表彰されました。県内小学校227校の中で、「学校安全」の部で受賞したのは本校1校だけでした。本校の地域と連携した防災教育(避難訓練等)の取組が評価されたものと思っています。

今回の受賞を励みに、今後もより一層、学校・家庭・地域が一体となった取組を進め、児童の安全意識や危機意識の向上に努めていきたいと思ひます。

※ 本校は、これまでも学校保健・安全関係の多数の受賞歴があり、今回の受賞で新たな歴史を刻むことができました。校長室にある沿革史で過去の受賞歴を調べてみました…

- ◆健康優良校 S45～S62 (23度受賞) ◆健康推進校 H5 (2度受賞)
- ◆よい歯の学校 S49～S57 (9度受賞) ◆学校給食優良校 S53, H3 (2度受賞)
- ◆交通安全優良校 S44～H24 (10度受賞)



表彰基準(学校安全)

「安全教育及び安全管理の計画的、組織的な実践と、家庭・地域・関係機関との密接な連携を通じた特色ある取組が、本県における学校安全の普及啓発について貢献があること」

～ 「江戸しぐさ」コーナー ～

夏休みに校長室の書棚を整理していたら、「江戸しぐさに学ぶ子供の作法(マナー)」という本を見つけました。「江戸しぐさ」とは、江戸城下町の商人が生み出し、率先して実行した「気配り」や「立ち居振る舞い」のことです。本校の子供たちにも大切にしてもらいたいと思うしぐさがたくさん紹介されているので、毎月少しずつ紹介していきたいと思ひます。

① 『傘かしげ』 …どんな気配りやしぐさなのか? 想像してみてください。【解説は来月号で…】